

2026年度 非住宅木造建築技術者育成講習

環境都市実現のための木造化・木質化推進あいち協議会

平成22年の「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」制定以降、公共建築物の床面積ベースの木造率は、法定時の8.3%から令和元年度には13.8%に上昇しました。
 一方で、民間建築物については、木造率の高い低層の住宅以外にも木材の利用の動きが広がりつつあるものの、非住宅分野や中高層建築物の木造率は低位にとどまっています。
 こうした背景の元、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律の一部を改正する法律」が成立し、令和3年10月1日に施行されました。
 これにより、法律の題名が「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に変わるとともに法の対象が公共建築物から建築物一般に拡大しました。当協議会としては非住宅建築の木造化に向けて、ソフト・ハード両面から木造に強い建築技術者を育成するために連続講座を実施します。講座の構成は、木造設計の初心者・経験者を問わず基本事項、最新の現場状況などを盛り込み講座を実施します。また非住宅木造建築の各種専門分野から講師を招き講演会も3回企画しています。併せて非住宅木造建築の現地研修も2回予定しています。全編を通じて非住宅木造建築に関する多面的なノウハウを学んでいただけます。

回	日程	講師	講座番号	講座タイトル	講座内容
1	8月1日	村上 淳史	1, 2, 3	3階木造	
		住林OneClick	4	LCAとは	
2	9月9日	久保久志	5, 6, 7	試行錯誤の中大規模木造施設づくり	中大規模木造施設の設計を進めるに当たってのハイブリッドを設計事例を中心に学ぶ。講義前半では作手小学校・つくで交流館を中心に利用者とする木造施設づくりについて複数の事例からレクチャー。講義後半では星の杜小学校を中心に防耐火など各分野毎の取組を交えて木造施設づくりについてレク
		イケダコーポレーション	8	木造用塗装	
3	9月26日	安井 昇	9, 10, 11	都市に火事に負けない木造建築をつくる	2019年、2022年、2023年木造耐火に関する法令・告示改正が続いており、木造でも中大規模建築物をつくる手法が広がってきた。本講義では、法令の変遷や上手い使い方を紹介するとともに、法令の根拠となる実験動画を見ながら、火事に負けない木造建築のつくりかたを学びます。
		吉野石膏(株)	12	防耐火・耐力壁	
4	10月21日	大倉靖彦	13, 14, 15	中大規模木造建築の計画・監理	
		YKK AP(株)	16	中大規模木造サッシ	
5	11月7日	坂口大史	21, 22, 23	LCA及びLCOO2への対応を見据えた中大規模木造建築の設計	2028年から順次導入されるLCAやLCOO2への対応を踏まえて、BIM接続、カーボンニュートラル、戦略的な木造活用や木材利用に関する実践的な知識や設計方法を身につける。
		YKK AP(株)	24	省エネ適判	
6	12月5日	辻充孝	25, 26, 27	脱炭素時代を生き抜く設計手法～非住宅建築物における温熱・省エネ設計の要点～	2050年カーボンニュートラル実現に向け、非住宅建築物でも省エネ適合義務化やZEB化への要求が急速に高まっています。本セミナーでは、脱炭素時代の社会的背景を踏まえ、単なる基準クリアにとどまらない「快適性と省エネ性を両立する設計の大切さ」を解説。さらに、着工計画の初期段階から
		未定	28	メーカー勉強会	
7	9月19日	現地見学	29	東海市～四日市市 見学会	
8	未定	現地見学	30	施設見学会	
9	10月23日	金	17, 18	(株)山西 フロッドフェア	木とともに暮らす住まいづくりの提案を掲げた、建材・住設メーカー等と連携したフローリング等の木材製品、断熱材や化粧板、制震ダンパー他の建材、非住宅木造関係の新構法等の展示会を見学。
10	1月30日	支援研修	31	構造支援事例発表	
		五十田 博	32		
11	8月中旬～9月中旬	恒次 祐子	19, 20	建物の内装木質化	近年、環境配慮やウェルビーイングを重視したライフスタイルへの変換が求められる中、内装木質化による効果の検証を通じた「木材の良さ」に関する科学的なデータを基に木材を活かした建物づくり、空間づくりについて講演いただく。